

東北新社「クリエイティブセンター」から新ユニット「OND°」発進

www.ond-crc.jp/

東北新社がクリエイティブ部門の組織を改編。「クリエイティブセンター」を新設した。さらにこの「クリエイティブセンター」のメンバーは、東北新社グループ以外の外部からのオファーも受ける。

「CM業界は大きく変化しています。そこでCMを中心としつつも多様なメディアに対応すべく、2年前から組織改革を進めてきました」（同社執行役員 Production 2 プレジデント兼クリエイティブセンター長河西正勝氏）。

「クリエイティブセンター」は、従来の「企画演出部」と「編集部」を管轄。ディレクター、プランナー、オフラインエディターなど、総勢60人弱のメンバーを擁する大所帯。この「クリ

エティブセンター」が、対外的には「OND°」（オンド）というユニット名で企画・演出・編集業務を展開していく。オムニバス・ジャパン所属のオフラインエディターに関しては、両方に在籍しつつ、クリエイティブセンターでスケジュールを共有していくという。

企画演出ができるクリエイターを数多く擁する東北新社が、ついに“開国”。そこにはどんな思いがあったのだろうか。

「企画演出部では、グループ外の仕事もやりたいという要望は、以前からありました。プロデューサーの目から見ても、外に開いていくことでさらに元気になるのではないかと考えていました。特に若いディレクターには、外で揉まれてパワ

OND°

わたしたちは、映像づくりの輪のなかで「音頭」がとれる人でありたい。「温度」が描ける人でありたい。

頼もしく、陽気に、時にクールで、時にアツク。

気持ちを動かせるのはこれからもずっと人がつくる「OND°」だ。

ネーミング、ロゴデザインもクリエイティブセンター内の社内公募で創り上げた。

ーアップしてほしい。社外では厳しいこともあるかもしれませんが、今までとはまったく違う仕事に出会えるかもしれない。数多くの打席に立つことで、経験を積んで個々のスキルを伸ばしていけます。そして東北新

社はもちろん、業界全体の活性化につながってほしいと考えています。（河西氏）

「OND°」のクリエイターたちによって、これからの広告業界でどんなケミストリーが生まれていくのか、要注目だ。

写真展告知

2018年9月7日～10月4日 エプソンイメージングギャラリー エプソンサイト

舞山秀一写真展「I'M HERE. 1986～2018」

www.epson.jp/epsite/



© Hidekazu Maiyama



19 80年代の後半から、強いメッセージを放つポートレイトを核に、広告やファッション誌・CDジャケットなどで活躍してきた舞山秀一。「ポートレイト写真は被写体のためのもの。私はその人にとって最高の一枚となるよう被写体の持っている魅力を引き出す自信があります」と、常々語っている。本展では、過去から現在までの作品を包括し、旅先で出会い撮りためてきたポートレイト作品を中心に展示する。

■ギャラリートーク
開催日時：2018年9月8日（土）
15:00～（約1時間）
入場料：無料 予約：不要